

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-29 障害者社会参加促進事業 □支援部門						
主管課	障害者福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	福祉運営事業の充実を図る。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
事業の対象者数	6,741人	6,568人	6,301人				
運営資源状況	決算値(千円)	38,822	39,523	37,213			
	(国・県)	1,625	2,212	2,209			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	37,197	37,311	35,004			
	人員配置数	1.2	1.2	1.2			
	人件費(千円)	10,578	11,130	10,952			
	協働のパートナー	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	49,400	50,653	48,165			
	市民1人当りの経費(円)	279	286	272			
	対象者1人当りの経費(円)	7,328	7,514	7,644			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
タクシー券・ガソリン券助成事業	△	目標値	33,746,000	31,900,000	31,900,000	34,900,000	36,300,000
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	30,763,000	31,857,000	33,535,000	33,337,000	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
障害者社会参加促進事業	38,822千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B ■C □D □E	
	事業の概要	聴覚障害者への手話通訳者の派遣事業や障害者が自ら運転する自動車の改造費の助成、及び、在宅の重度障害者への福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し、利用料等の助成を実施した。			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	福祉タクシー利用助成など社会参加事業、手話通訳・要約筆記などコミュニケーション支援事業など、障害者のニーズに対応した事業を実施し、障害者の社会生活の参加を図っていく。		
課題解決のための取組	市手当てとタクシー券の交付額のバランスを図るなど、新たな在宅福祉サービス事業の在り方に向けて、既存事業の見直しの検討を進めた。	取組の結果	■ 解決 □ 未解決
未解決の課題	既存事業の見直しも含め、サービスの提供体制の整備の検討を行う。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			障害者の社会参加に必要な支援や福祉タクシー利用助成など社会参加推進事業、手話通訳・要約筆記などコミュニケーション支援事業など手話者の社会参加の促進を図っていく。	↓ A	課長等名 障害者福祉課長 西山 朗

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	タイムコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
障害者社会参加 促進事業	主な 個別 事業	26 手話通訳嘱託員報酬	796	781	○	○	○	○
		26 手話通訳者等派遣報酬費	2,100	1,648	○	○	○	○
		26 手話講習会等開催委託料	1,396	1,307	○	○	○	○
		26 障害者ふれあいフェスティバル開催等負担金	350	350	○	○	○	○
		26 身体障害者自動車改造費助成費	400	100	○	○	○	○
		26 身体障害者自動車運転訓練費助成費	100	0	○	○	○	○
		26 福祉タクシー利用料金等助成費	37,413	33,337	○	○	○	○
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							
	主な 個別 事業							